

静岡県総合社会福祉会館指定管理者評価委員会の結果

令和6年10月

静岡県健康福祉部福祉長寿局地域福祉課

- 1 指定管理者名：社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会
- 2 指定期間：平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）
- 3 開催日：令和6年8月28日（水）
- 4 議事内容
 - (1) 静岡県総合社会福祉会館指定管理者評価委員会委員長の選出
 - (2) 令和5年度会館運営の評価

5 評価委員会委員（☆：委員長）

氏名	職名
小野 信一	(一社) 静岡県建築士会 副会長
川島 貴美江	静岡英和学院大学 人間社会学部 コミュニティ福祉学科 教学特別参与・教授
田島 泉美	税理士 田島攝規事務所
☆ 東野 定律	静岡県立大学 経営情報学部 教授
伏見 隆次	静岡県車椅子友の会
勝岡 聖子	静岡県健康福祉部福祉長寿局長

6 静岡県総合社会福祉会館指定管理者評価委員会委員長の選出

- ・委員の互選により、東野委員を委員長に選出

7 令和5年度会館運営の評価

(1) 評価の流れ

- ア 指定管理者による「評価シート」の提出と自己評価
 - ・指定管理者は、指定管理業務の実績について、「評価シート」の作成及び自己評価を実施する。
- イ 静岡県総合社会福祉会館指定管理者評価委員会による評価
 - ・指定管理者が作成した「評価シート」及び自己評価をもとに、ヒアリング等を実施する。
 - ・各委員により評価事項ごとに採点を行う。
 - ・各委員採点の合計得点により、各評価事項及び全体の評価を5段階で評価し、公表へつなげる。

(2) 評価の基準

ア 評価項目

評価項目	評価事項
有料会議室の利用状況	会議室利用実績
	会議室利用向上への取組実績
収支実績	収支実績
	管理費縮減への取組実績
利用者満足度向上への取組実績	入居団体への取組実績
	一般利用者への取組実績・受付ボランティアに対する指導等
	アンケート調査に対する取組状況
会館施設・設備の適正管理へ	修繕の状況

の取組実績	県工事への協力・安全管理
危機管理業務の実績	事故防止への取組・危機管理上の規定の整備
	災害ボランティア本部の訓練・自衛消防隊の訓練
事業計画に対する実施状況	自主事業など計画内容の取組実績

イ 評価基準

評価委員会による評価は、評価事項ごとに5段階で行った。

内容	たいへん 評価できる	概ね 評価できる	可も不可 もない	あまり評価 できない	まったく評価 できない
評価点	5	4	3	2	1

(3) 評価結果

評価委員会委員による評価点は4.5点であり、「概ね評価できる」との評価となった。

評価項目	評価事項	評価点	主な理由・意見
有料会議室 の利用状況	会議室利用実績	4.3	<ul style="list-style-type: none"> 全体では実績が上がっていることは評価できるが、一般の利用が前年度から大幅減となっている。これまで同様に福祉関係者の利用を優先しつつ、有料会議室の更なる利用増につなげるために、一般の利用が大幅に減少した原因の分析に努めていただきたい。 コロナ禍以降、回復しており、また、前向きに取り組まれているが、更に稼働率を向上させる努力を求めたい。
	会議室利用向上への取組実績	4.3	<ul style="list-style-type: none"> Wi-Fi環境の整備が良かったと思います。WEB上などで、予約（空き状況）も見えて、予約できるようになれば良いかと思います。 全有料会議室にWi-Fi設備が設置され、利便性が向上した。予約システムの導入を検討されたい。
収支実績	収支実績	4.7	<ul style="list-style-type: none"> 人件費や光熱費が上がるなかで、予算内に抑えるのが難しいと思われるが、よく努力されていると思います。 会館の老朽化や電気料の高止まりを勘案すれば、収支均衡はある程度評価できるのではないかと。
	管理費縮減への取組実績	4.8	<ul style="list-style-type: none"> 光熱費が今後増えることが予想され、より一層の効率化が求められると思います。 水道光熱費の使用量縮減に努めた。消耗器具備品費の当初予算が低く決算額との乖離が見られる。
利用者満足 度向上への 取組実績	入居団体への取組実績	5.0	<ul style="list-style-type: none"> 入居団体同士の情報共有、会議の開催などの努力により、協力を強化している。 情報交換、救命講習、接遇研修をしっかりと行っている。
	一般利用者への取組実績・受付ボランティアに対する指導等	3.7	<ul style="list-style-type: none"> 利用者に対するご意見をくみ取る他の方法があっても良いかも。(WEBなどで)。 会館利用者等へのパン類の販売再開や受付ボランティアの活用、館内全面禁煙の実施の継続、「静岡県ゆずりあい駐車場事業」への協力は評価できるが、ご意見箱の設置については、件数を考えるともうひと工夫欲しい。
	アンケート調査に対する取組状況	3.7	<ul style="list-style-type: none"> アンケートに対して、出来る限りのことは実施している努力は評価できるが、実現不可能なことについても、より良い代案が可能か検討し続けることは必要かと思う。 今後ともアンケートに答える工夫、努力をしていただきたい。 アンケートの回収率がとても高く、また、要望への対応も可

			<p>能な限り努力している。HPでも意見が言えるようになれば、更に利用者の声が届くと思われる。</p>
<p>会館施設・設備の適正管理への取組実績</p>	<p>修繕の状況</p>	<p>4.8</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進んでいる中、緊急性の高いもの、少額で対応出来るものなどの優先順位を考えて今後も進めてもらいたい。 ・老朽化する建物を管理するため、予算の限られた優先度を考えて取り組んでいると思われる。
	<p>県工事への協力・安全管理</p>	<p>5.0</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予算にかかるものであっても、必要性の高いものは予算要求を積極的に努めていただきたい。 ・工事業者と入居団体との連絡調整や県との密な協議は評価できる。
<p>危機管理業務の実績</p>	<p>事故防止への取組・危機管理上の規定の整備</p>	<p>4.7</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員や受付ボランティア等を対象にした研修の実施や、任意保険への加入、会館内防災センターの設置、危機管理上の規定の整備、会議の開催など評価できる。 ・イーバックチェアの設備はあるものの、訓練回数が少なく習熟できていると思えない。
	<p>災害ボランティア本部の訓練・自衛消防隊の訓練</p>	<p>4.3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア本部訓練はR5は実災害に対応したようだが、訓練の内容で充分か、対応出来ていると言うことで実のある訓練と言うことは評価できる。また、自衛消防隊の訓練の実施は良いことなので継続して欲しい。 ・障害者団体等の協力のもと、訓練を行った方が良い。 ・実災害で対応したとはいえ、訓練は実施した方がよいと考える。
<p>事業計画に対する実施状況</p>	<p>自主事業など計画内容の取組実績</p>	<p>4.3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートなどを中心に、利用者以外（今後利用を考えている人も含む）の意見をくみ上げる仕組みも必要かと思う。 ・フェスタシズウェルの開催について、来場者は増加しているが、更に広く周知するよう、公告宣伝を工夫されたい。
<p>全体の評価（平均点）</p>		<p>4.5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入居団体の活動が簡易で、理解し易い形で目にする仕組みが出来ていれば、様々な方々への福祉や会館のアピールになっていたと思う。こうしたことは、会館の設立目的や会館維持の観点からも改善の余地があると思う。 ・既に手を尽くされているのかも知れないが、利用者要望に答えるべく新しい発想で工夫して欲しい。コロナ禍は収束しているが、可能な改善を試み、地域の方々に親われる会館運営をして欲しい。古い建物でも非常に掃除が行き届いていたり、案内の方の親切な笑顔で救われると思いました。それ故、具体的な声として上がってきたものについては誠実に対応し、ダメだった理由も示してあげて欲しい。

【各委員と指定管理者・県との質疑応答要旨】

質疑等（委員）	回答（指定管理者・県）
<p>会議室の利用実績について、一般の方が前年よりかなり減少しているが、その理由は。 一般の方は減少しているが、逆に福祉関係の利用が増えている理由は。</p>	<p>一般の方の利用が減ったことについて、統計を取っておりませんが、福祉関係の方は1年前から予約が可能、一般の方は6ヶ月前からとなっており、また、福祉関係の方が利用しやすい料金に設定しているため、福祉関係の利用が増えていると思います。 福祉の方の利用が増えたため、結果として、一般の方の利用が狭められていることも考えられます。</p>
<p>ご意見箱の件数が年々減少している。利用者アンケートを実施した影響もあるかも知れないが、例えば、ホームページでの受付はあるのか。</p>	<p>利用者アンケートが直接影響しているかはわかりませんが、ご意見箱の周知を図り、意見をもらえるよう取り組んでいきたいと考えています。 現在のホームページでは御意見を受け付けておりません。</p>
<p>会館の修繕について、優先順位があると思いますし、予算やバランスもあると思うが、利便性を考えるとやれるものはどんどんやっていかないといけない。</p>	<p>県と連携しながら進めていきます。</p>
<p>防災訓練には障害当事者や障害者団体が入っていますか。例えば、下肢不自由にもいろいろな種類があるので、外部の障害者団体と協力したらいかがか。障害の理解にもつながるし、障害者を取り残さない避難訓練ができるのではないか。</p>	<p>訓練には会館に勤めている障害者の方、障害者団体も参加しています。障害者の方の避難にあたっては周りが助けながら避難訓練を行っています。</p>
<p>南海トラフ臨時情報（巨大地震注意）が出た際に、会館として取り組んだことはあるか。</p>	<p>県からの通知を各団体へ周知するとともに、非常用食料の確認、転倒防止対策等について、県社会福祉協議会として各団体への依頼、会館全体の再確認を実施しました。</p>
<p>非常食糧の備蓄について、期限切れが起きそうなものはどのように対応しているか。</p>	<p>会館の1階にある「フードバンクふじのくに」でに提供し、有効活用を図りました。</p>